

I. 神奈川県内 c. 海成・河成堆積物

(5) 斜交葉理構造を含む上総層群小柴層 模式露頭剥ぎ取り標本

標本番号 KPM-NP 27, 28

標本名

KPM-NP27: 斜交葉理構造を含む上総層群小柴層 模式露頭剥ぎ取り標本

KPM-NP28: 斜交葉理構造を含む上総層群小柴層 模式露頭立体剥ぎ取り標本

大きさ

KPM-NP27: 幅 2.1 m, 高さ 2.4 m

KPM-NP28: 幅 1.4 m, 高さ 1.1 m

重量

KPM-NP27: 83.3 kg (板付き)

KPM-NP28: 51.9 kg (台付き)

形状・展示・収納状況 板・台に固定した状態で大収蔵庫平置きスペースに収蔵

採集地 神奈川県横浜市金沢区柴町小柴海岸

緯度・経度 N35°20'49", E139°38'27"

標高 5 m

露頭の種別と現状 海食崖、現存

露頭面の向き、傾斜 N80°E (傾斜不明)

走向・傾斜 N85°W, 27°N

堆積物の種別 凝灰質砂岩 (海成層)

年代 前期更新世 (藤岡ほか, 2003) (上総層群小柴層の中～上部)

採集作業 森山哲和 (考古造形研究所)

採集立会い者 田口公則、平田大二

採集日 1998 年 9 月

関連文献等

長浜春夫・新井重三・長沼幸男 (1974) 神奈川県横浜市南部に分布する上総層群小柴層の古流向. 地質調査所月報, 25(5): 223-232.

田口公則・石浜佐栄子・平田大二 (2007) 横浜市金沢区柴町に露出する上総層群小柴層模式地の地層剥ぎ取り標本について. 神奈川自然誌資料 (28):13-16.

田口公則 (1999) 地層のはぎ取り資料. 自然科学のとびら 5(2):16.

館 由紀子・間嶋隆一, 1998. 外側陸棚相の冷湧水性



図 Ic-5-1. 採集地点 (国土地理院発行の数値地図 50,000 (地図画像)「埼玉・東京・神奈川」を使用)。

化学合成化石群集—下部更新統上総層群小柴層の例—. 地質学雑誌, 104(1): 24-41.

解説 小柴層模式地の剥ぎ取り標本である。主に凝灰質の中粒～極粗粒の砂層、砂礫層からなり、貝殻片などの生物殻片、砂鉄質ラミナの濃集部、軽石礫を含む。全体に斜交葉理が発達し、セット高数 cm ～ 20 数 cm の平板型斜交葉理やトラフ型斜交葉理が 30 セット以上重なる。砂鉄質のフォーセット葉理が顕著。古流向は、南から北 (標本上で右から左) の流れが卓越し、小柴層の古流向を求めた長浜ほか (1974)、館・間嶋 (1998) と調和する。KPM-NP 28 は NP 27 の 9 m 右側で採取、NP 27 の層準の上部に重なる。立体的に剥ぎ取られた NP 28 は、斜交葉理の面構造を明瞭に示す。

記録者 田口公則



図 Ic-5-2. 剥ぎ取り標本の採集露頭。

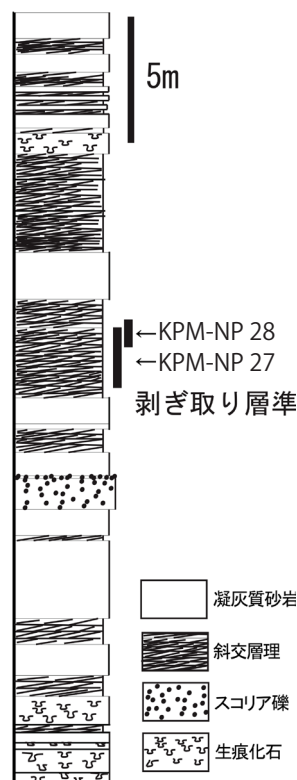


図 Ic-5-3. 剥ぎ取り層準周辺の柱状図 (田口ほか (2007) を改変)。



図 Ic-5-4. 剥ぎ取り標本 (KPM-NP 27) の写真.



図 Ic-5-5. 剥ぎ取り標本 (KPM-NP 28) の写真 (左: 正面から撮影, 上: 右斜めから撮影).